

Small Voice ほそきこえ 細き聲 聖書研究

大いなる強き風山を裂き岩石を砕きしが風の中にはエホバ在さざりき、風の後に地震ありしが地震の中にはエホバ在さざりき。又地震の後に火ありしが、火の中にはエホバ在さざりき、火の後に静なる細微き声ありき。

列王記略上 19 : 1 1、1 2 明治元訳聖書

日本学生宣教会

創世記

1 章 1 節

† 聖書区分

第一部 世界と人間の創造 Gen. 1:1~11:26

一 世界の創造 Gen. 1:1~24

1 宇宙の創造 Gen. 1:1~2

1:1 はじめに神は天と地とを創造された。1:2 地は形なく、むなしく、やみが淵のおもてにあり、神の霊が水のおもてをおおっていた。口語訳聖書

† 日本語訳聖書 Gen. 1:1

【漢訳聖書】

Gen. 1:1 太始之時、上帝創造天地。

【明治元訳】

Gen.1:1 元始に神天地を創造たまへり

【口語訳】

Gen.1:1 はじめに神は天と地とを創造された。

【新改訳改訂3】

Gen.1:1 初めに、神が天と地を創造した。

【新共同訳】

Gen.1:1 初めに、神は天地を創造された。

【バルバロ訳】

Gen.1:1 神は天と地をつくられた、それが始まりであった。

【フランシスコ会訳】

Gen.1:1 はじめに、神は天と地を創造された。

【日本正教会訳】

Gen.1:1 元始に神天地を造れり。

【詳訳聖書】

Gen.1:1 In THE beginning God (prepared,formed,fashioned,)and created the heavens and the earth.  
はじめに神は天と地を創造され<準備し、整えられ、形作られ>た。

## † 聖書引照 Gen.1:1

Gen.1:1 元始に神天地を創造たまへり

[元始に] 箴言 8:22~24; 16:4; マル 13:19; ヨハ 1:1~3; ヘブ 1:10; I ヨハ 1:1; 黙示 21:6

[神] 出エ 20:11; 31:17; I 歴代 16:26; ネへ 9:6; ヨブ 26:13; 38:4; 詩篇 8:3; 33:6,9; 89:11,12; 96:5; 102:25; 104:24,30; 115:15; 121:2; 124:8; 134:3; 136:5; 146:6; 148:4,5; 箴言 3:19; 8:22~30; 伝道 12:1; イザ 37:16; 40:26; 40:28; 42:5; 44:24; 45:18; 51:13,16; 65:17; エレ 10:12; 32:17; 51:15; ゼカ 12:1; マタ 11:25; 使徒 4:24; 14:15; 17:24; ロマ 1:19,20; 11:36; I コリ 8:6; エペ 3:9; コロ 1:16,17; ヘブ 1:2; 3:4; 11:3; II ペテ 3:5; 黙示 3:14; 4:11; 10:6; 14:7; 21:6; 22:13

[天地を] 詩篇 19:1; 115:3,16; 121:1~2; 136:5; 箴言 3:19; 伝道 5:2; イザ 51:6; 65:17

[創造たまへり] 詩篇 8:3; イザ 44:24; ヨハ 5:17; 使徒 17:28; ロマ 1:20; コロ 1:16; ヘブ 11:3; 黙示 4:11

## † ヘブライ語聖書 Interlinear

Gen. 1:1

בְּרֵאשִׁית בָּרָא אֱלֹהִים אֶת הַשָּׁמַיִם וְאֶת הָאָרֶץ:

bəre'šit bārā' 'ēlohîm 'et haššamayim wə'et hā'āreš:

In the beginning God created the heaven and the earth.

|                  |         |          |     |             |     |     |          |
|------------------|---------|----------|-----|-------------|-----|-----|----------|
| בְּרֵאשִׁית      | בָּרָא  | אֱלֹהִים | אֶת | הַשָּׁמַיִם | וְ  | אֶת | הָאָרֶץ: |
| bəre'šit         | bārā'   | 'ēlohîm  | 'et | haššamayim  | wə' | et  | hā'āreš: |
| In the beginning | created | God      |     | the heaven  | and | the | earth.   |

## † ヘブライ語聖書 品詞色分け

Gen.1:1

בְּרֵאשִׁית בָּרָא אֱלֹהִים אֶת הַשָּׁמַיִם וְאֶת הָאָרֶץ:

## † LXX Interlinear

Gen.1:1

ἐν ἀρχῇ ἐποίησεν ὁ θεὸς τὸν οὐρανὸν καὶ τὴν γῆν

In the beginning God made the heaven and the earth.

|                  |      |          |     |        |     |            |     |     |     |
|------------------|------|----------|-----|--------|-----|------------|-----|-----|-----|
| ἐν               | ἀρχῇ | ἐποίησεν | ὁ   | θεὸς   | τὸν | οὐρανὸν    | καὶ | τὴν | γῆν |
| In the beginning | made | God      | the | heaven | and | the earth. |     |     |     |

## † LXX 品詞色分け

Gen.1:1

ἐν ἀρχῇ ἐποίησεν ὁ θεὸς τὸν οὐρανὸν καὶ τὴν γῆν

† F・Josephus Antiquitates Judaicae

- [27] Ἐν ἀρχῇ ἔκτισεν ὁ θεὸς τὸν οὐρανὸν καὶ τὴν γῆν.  
In the beginning God created the heaven and the earth.  
はじめに神は天と地をつくられた。

† ラテン語 Interlinear

Latin Vulgate

Gen.1:1

In principio creavit Deus cælum, et terram.

In the beginning, God created heaven and earth.

|    |                |         |      |        |     |         |
|----|----------------|---------|------|--------|-----|---------|
| In | principio      | creavit | Deus | cælum, | et  | terram. |
| In | the beginning, | created | God  | heaven | and | earth.  |

† 私訳 (詳訳) Gen. 1:1

【私訳】 「(人間と存在の) はじめに (起源として)、神は天と地を創造され (かたちづくられ、そこに置かれ) た」

† 英語訳聖書 Gen. 1:1

King James Version

1:1 In the beginning God created the heaven and the earth.

New King James Version

1:1 In the beginning God created the heavens and the earth.

American Standard Version

1:1 In the beginning God created the heavens and the earth.

Bible in Basic English

1:1 At the first God made the heaven and the earth.

Today's English Version

1:1 In the beginning, when God created the universe,

Darby's English Translation

1:1 In the beginning God created the heavens and the earth.

Douay Rheims Bible

1:1 In the beginning God created heaven, and earth.

Noah Webster Bible

1:1 In the beginning God created the heaven and the earth.

World English Bible

1:1 In the beginning God created the heavens and the earth.

Young's Literal Translation

1:1 In the beginning of God`s preparing the heavens and the earth --

† 旧約聖書ヘブライ語語句研究

Gen.1:1

בְּרֵאשִׁית בָּרָא אֱלֹהִים אֶת הַשָּׁמַיִם וְאֶת הָאָרֶץ:

【初めに】 בְּרֵאשִׁית

【初め】 רֵאשִׁית re'shiyth {ray-sheeth} 普通名詞女単 @ncfsN [51] <7225>

< ראש 始め、頭

1) 初め、はじめに、第一に、新しい 2) 最初、始め、開始、冒頭、発端、起こり、起源、根源 3) 初なり、初穂、初物、初収穫、最初のもの 4) 第一の、主要な、主なもの、先頭のもの 4) 最初、最高、最上、最も良い、最上のもの、選り抜きの部分、尊い、大事な分 5) 首長、かしら 6) まず、まず初めに

創 1:1; 10:10; 申命 11:12; ヨブ 8:7; 箴言 8:22; 伝道 7:8

LXX

ἀρχή アルケー archē {ar-khay} 名詞

1) 初め、最初、発端、源、起源、根源、原初 2) 原因、根拠 3) 権威、王権、支配、統治 4) 初めの者、先導者、支配者 5) (物の) 末端、角

Latin Vulgate

principium

1) はじめ 2) 手始め 3) 端緒 4) 基礎

in principio

1) まず最初は 2) 最初に 3) 真っ先に 4) それその最初に 5) まず最初は

【に】 בֵּי be{be} 前置詞 @PpN [15799] <10007>

1) 中 2) (理由、代価、手段、場所、時の)で

LXX ἐν エン en {en} 前置詞

1) ~の中に、~の間に 2) ~の上に 3) ところに、のそばに 4) で 3) よって 5) に

【神は】 אֱלֹהִים エローヒーム 'elohiym {el-o-heem} 普通名詞男複 @ncmpN [2602] <430>

1) 神、いと高き神 2) 神々 3) 主 4) 天使、御使い 5) 激しい、非常に、非常に大きい 6) 大いなる、卓越した、偉大な、力ある

「אֱלֹהִים エロヒーム」は複数形。語源は「אֵל エル」権力、権威を指す。

LXX

θεός てオス theos {theh'-os} 名詞

1) 神 2) 神性 3) 唯一の神

Latin Vulgate

Deus

1) 神 2) 神性

【天】 שָׁמַיִם シャマーイーム shamayim {shaw-mah'-yim} 普通名詞男複 @ncmpN [421] <8064>

1) 空気 大気、空、大空、天空 3) 天、天空、天界、いと高き天、天が下、天下 4) 天国 5) 占星術師、占星家 5) もろもろの天

複数形は「水の場所」「上空の大洋」を意味する。

創1:1; 2:1; 申命10:14; 26:15; 28:12; II列王19:15; I歴代16:26; II歴代2:6; 6:14; 詩篇8:1,3; 11:4; 50:6; 103:19; 113:4; 115:3; 121:3; 136:5; イザ42:5; ゼカ12:1

## LXX

οὐρανός ウーラノス ouranos {oo-ran-os} 名詞

1) 空、大空、蒼穹、丸天井 2) 天の、天にある、天、天界 3) 神の座、神のいますところ、神のみ住まい 4) 王権 5) 宇宙  
ユダヤ人は天が幾層もあると考えた

Latin Vulgate

cælum

1) 天 2) 空、大空、頭上の空 3) 至上の幸福

ⲉⲧⲏ エツ 'eth 定目的語記号 目的格記号 @PoN [11873] <853>

【と】 ⲅ 接続詞 @PcN [51275] <10012>

1) …と…

【地を】 ⲉⲣⲉⲧⲏ エレツ 'erets {eh'-rets} 普通名詞男女単 @ncbsN [2505] <776>

1) (天に対して) 地、地、地上、大地、地球 2) 土、土地、地面、陸、野、原野 3) 国、全地、地域、道、国土 4) もろもろの国、世、この世、人民、国家、全世界 5) 御国  
創世1:1; ヨブ38:4~11; 詩篇104:5; 箴言8:29; イザ48:13

## LXX

γῆ ゲー gē {ghay} 名詞

1) 地、大地 2) 土地、陸、陸地、地面、土壤 3) 国、国土、領地 4) 地域、地方 5) 故郷、祖国、世界

Latin Vulgate

terra

1) 地球 2) 土地 3) 陸地 4) 土 5) 地面 6) 国 7) 地方

ⲉⲧⲏ エツ 'eth 定目的語記号 目的格記号 @PoN [11873] <853>

【創造された】 ⲃⲁⲣⲁ バーラー bara' {baw-raw'} 動詞 Qal完3男単 @vqp3msN [54] <1254>

1) 創造する、創造者、造り主 2) まったく新しいものを造る、形づくる、造る、なす、する 3) (樹木を)切る、切り開く、切り出す、切り倒す、置く、作る 4) 太らせる、養う 5) 選ぶ 6) 派遣する 7) 行う、為す、行動する

詩篇8:3; イザ44:24; ヨハ5:17; 使徒17:28; ロマ1:20; コロ1:16; ヘブ11:3; 黙示4:11

## LXX

ποιέω ポイエオー poieō {poy-eh'-o} 動詞

1) 造る、こしらえる、建てる 2) 創造する、原因となる、準備する、生み出す 3) やる、なす、行う~にならせる、~にする、こしらえる、準備する、~を~とする、ある状態にする 4) 発芽する、結ぶ 5) 行う、為す、行動する 6) 過ごす 7) 守る

Latin Vulgate

creo

1) 創造する 2) 生産する 3) 生む、産む 4) 作る 5) 任命する

## † 細き聲 聖書研究ノート

<元始に神天地を創造たまへり>

神ははじめに天と地を創造された。

聖書の冒頭の言葉であり、全聖書の始まりに置かれることばである。すべてのはじまりは神の創造の御業である。

<はじめに>

聖書は神と人間について語る。聖書において人間と神は同じ重さをもっている。神は人間ではなく、人間は神ではない。しかし、神を知るとは人間が自身を知ることであり、自己を知るとは神を知ることである。そのことにおいて人間はあらゆる存在と認識において神と深く結びつく。

<元始に>

「初めに אֵלֶּיךָ רֵאשִׁית re'shiyth {ray-sheeth}」は物事の発端、起こり、起源、根源としての「始め」を意味する。LXXは「始め、最初、発端、源、起源」を意味する ἀρχῆν をあて、ἐν ἀρχῆν 「最初に」とする。聖書の冒頭の「はじめに」が何に対する「はじまり」か。それを決定することは以下の聖書全体の主題を定める意味で極めて重要である。(ギリシャ語 ἀρχῆν には「本性」の意味もある)本研究は、聖書の主題が神と人間であるとき、冒頭の「初めに」を「人間の始め」と解釈する。

<神は>

「神 אֱלֹהִים エローヒーム 'elohiym {el-o-heem}」は複数形である。「いと高き大いなる神」をあらわす。

「אֱלֹהִים エローヒーム」は旧約聖書に2250回用いられる。複数形は「尊厳の複数」と考えられ、一なる神の尊厳をあらわす。

<天と地を>

「天 שָׁמַיִם シャマーイーム shamayim {shaw-mah'yim}」には「空気 大気」としての「天」と、神のいます「天」の意味が含まれている。

「地 אֶרֶץ エレツ 'erets {eh'rets}」は「地、地、地上、大地、地球」を意味するとともに「もろもろの国、世、この世、人民、国家、全世界」をあらわす。

<創られた>

「創られた בָּרָא バーラー bara' {baw-raw}」は「まったく新しいものを造る」で、LXXは ποιέω ポイエオー poieō {poy-eh'-o} である。「בָּרָא バーラー」というヘブライ語は旧約聖書ではすべて神による創造に用いられる。(「このヘブライ語は神の場合にだけ用いられ、労することなく造る、すなわち言葉または意思によって造るという意味」 フランシスコ会訳聖書注解)神は「すべてをととのえ、形成し、形造られる」(AB)

## † 心のデボーション

「元始に神天地を創造たまへり」 創世記 1:1 明治元訳聖書

「初めに、神は天地を創造された」 新共同訳聖書

「神と人間」

J・カルヴィンは、「キリスト教綱要」において、まず「神を知る知識と、われわれ自身を知る知識」の二つの認識は「互いに結びつけられた事柄である」と主張する。

聖書は「神と人間」という二つの主題をもち、神を知るとは自己を知ることであり、自己を知るとは神を知

ることである。しかも、神は人間ではなく、人間は神ではない。そして、人間にとって神は自己においてのみその存在が認められ、人間は神においてのみ自己としての存在を認識する。かく神と人間の二つの認識は互いにかたく結びついて一つである。神から人間を、また人間から神を切り離れた認識は不完全である。

## † 心のデボーション

「元始に神天地を創造たまへり」 創世記 1:1 明治元訳聖書  
「初めに、神は天地を創造された」 新共同訳聖書

「私とは何か」

聖書の主題が神と人間であるとき、冒頭の「初めに」は「人間の始め」と読むことができる。

「初め」は、「天地のはじまり」についての記録であるよりも、まず人間の「はじめ」としてその冒頭におかれるのである。

「私とは何か」という問いは、自己の存在の根源を父母よりの出生をはるかに遡り「天と地の創造」に至らなければならない。「私」という存在の「はじまり」は、時と空間のはじまりから「私」として今ここに存在するにいたる生きとし生けるもののすべてのテーマを含むのである。

「山いまださだめられず陸（をか）いまだ有ざりし前に我すでに生れたり」 箴言 8:25 明治元訳聖書

## † 心のデボーション

「元始に神天地を創造たまへり」 創世記 1:1 明治元訳聖書  
「初めに、神は天地を創造された」 新共同訳聖書

「創造の神」

神は創造の神である。生起するすべてのものは神によって創造される。

「בָּרָא בְרָאָה」は旧約聖書ではすべて神による創造に用いられる。創造は神に属する業である。

今日私の身におこるすべての出来事は神から来るのであり、意味のない出来事は一つとしてない。しかし、人間は意味の全体を知らない。人間は意味を求める者であり、意味を求めることにおいて人間である。

## † 心のデボーション

「元始に神天地を創造たまへり」 創世記 1:1 明治元訳聖書  
「初めに、神は天地を創造された」 新共同訳聖書

「創造の神」

神は人間に「創造の神」として自己をあらわし給う。このことは、人間にとって神は自己との関係においてのみ存在をあらわされることを意味するのである。

人間は自らの存在をもって神を証し、生きた認識のうちに神を知る。

## † 心のデボーション

「元始に神天地を創造たまへり」 創世記 1:1 明治元訳聖書  
「初めに、神は天地を創造された」 新共同訳聖書

「天と地」

人間の存在に先立って、神は「天と地」を創造された。人間は「地」に属するとともに「天」を持ち、存在の根源を「天と地」の世界に求めるものである。

「天と地」は二つの別れた世界ではなく、天は地に、地は天において知られるのである。

「地」は「天」を離れることなく、「天」は「地」を失うこともない。「天」は「地」を離れてはならず、「天」を

失った「地」は虚しい。

「もろもろの天は神のえいくわうをあらはし 穹蒼はその手のわざをしめす

この日ことばをかの日につたへこのよ知識をかの夜におくる

語らずいはずその聲きこえざるに

そのひびきは全地にあまねく そのことばは地のはてにまでおよぶ 神はかしこに帷幄を日のためにまうけたまへり」 詩篇 19:1~4 明治元訳聖書

## † 心のデボーション

「元始に神天地を創造たまへり」 創世記 1:1 明治元訳聖書

「初めに、神は天地を創造された」 新共同訳聖書

「天と地」

「エホバ如此いひたまふ 天はわが位地はわが足臺なり なんぢら我がために如何なる家をたてんとするか 又いかなる處かわが休憩の場とならん」 イザヤ 66:1 明治元訳聖書

「天」は「神の御座」(マタイ 5:34)であり、「地」はその「足台」である。神は天にいまし、地に足を置かれる。

## † 心のデボーション

「元始に神天地を創造たまへり」 創世記 1:1 明治元訳聖書

「初めに、神は天地を創造された」 新共同訳聖書

「存在のはじめ」

「私」という存在をどこから始めたらいいか？

聖書は「私」という存在をについて、わたしを天と地の創造に連れていく。しかし、それが「私」の原初ではない。神は創造の前に、まず、御自身の内に「私」という存在を意思された。天と地の創造に先立って、神の内に「私」はあった。

その後、宇宙は創造された。

「私」という一個の存在は全宇宙を説明するものお足りない。

「山いまだ生いず汝いまだ地と世界をつくりたまはざりしとき 永遠よりとこしへまでなんぢは神なり」 詩篇 90:2 明治元訳聖書

## † 心のデボーション

「元始に神天地を創造たまへり」 創世記 1:1 明治元訳聖書

「初めに、神は天地を創造された」 新共同訳聖書

「所有からの解放」

天地創造の前に人間は神の中に存在した。神が人間を意思なされ、形づくられた。この時、人間は何も所有しなかった。ただ、神との関わりが存在した。

人類が「人間とは何か」という問いに、「所有」という答えを見出したことは人間最大の不幸である。物に限らず、才能、知識、能力等、すべては所有の対象であり、持てる者が持たざる者を支配した。

聖書は人間を所有によって判断しない、人間は「関係」において存在し、「所有」ではなく「関係」を問われる存在である。ここに人間ははじめて「所有によらずに」存在するものを自己とすることが始まる。聖書は所有の問題から人間を決定的に解放する福音である。

## † 心のデボーション

「元始に神天地を創造たまへり」 創世記 1:1 明治元訳聖書

「初めに、神は天地を創造された」 新共同訳聖書

「事の初め」

聖書は冒頭に「始めに、神は」の御言葉を置く。

信仰はことの初めに神を見る。

事の初めに神を見たら、直ちに始めよ。

† 心のデボーション

「元始に神天地を創造たまへり」 創世記 1:1 明治元訳聖書

「初めに、神は天地を創造された」 新共同訳聖書

「私のはじめ」

「はじめ」を意識すること。意識はその深みには入れない。しかし、自分というものが始まった始めとしての時がある。自己以前の自己から現在の自己が来る。時々刻々に変化する時に初めの時が対応している。「私」の生命的根拠としての「はじめ」である。

「なんぢを創造し なんぢを胎内に作り又なんぢを助くるエホバ如此いひたまふ わがしもベヤコブよわが撰みたるエシュルンよおそるるなかれ」 イザヤ 44:2 明治元訳聖書

† 心のデボーション

「元始に神天地を創造たまへり」 創世記 1:1 明治元訳聖書

「初めに、神は天地を創造された」 新共同訳聖書

「創造の神と人間」

聖書は神を証明しない。神は「有て在るもの」(出エジプト 3:14)である。

この神は創造の神であり、人間は神に創られた。イザヤは、陶工の手で作られた土の器が陶工に「あなたはいない」と言えるだろうかと問いかける。

「なんぢらは曲れり いかで陶工をみて土塊のごとくおもふ可んや 造られし者おのれを作れるものをさして我をつくれるにあらずといふをえんや 形づくられたる器はかたちづくりし者をさして智慧なしといふを得んや」 イザヤ 29:16

すべての人間には「神への想い」がある。そのような「私」の存在が神を証しする。

† 心のデボーション

「元始に神天地を創造たまへり」 創世記 1:1 明治元訳聖書

「初めに、神は天地を創造された」 新共同訳聖書

「神われらと共に在す」

神は天と地を創造された。神が在さない時と空間はなく、また、神の働きの及ばない時と空間もない。

人間は地のどこでも、どのような時でも、そこに神の在すことと、その愛の働きを知る。

「イエス答へ給ふ『わが父は今にいたるまで働き給ふ、我もまた働くなり』」 ヨハネ 5:17 大正文語訳聖書

「我らは神の中に生き、動きまた在るなり」 使徒 17:28 大正文語訳聖書

† 心のデボーション

「元始に神天地を創造たまへり」 創世記 1:1 明治元訳聖書

「初めに、神は天地を創造された」 新共同訳聖書

「働かれる神」

聖書において、「神」は創造の神である。神は創造の御業（働き）の中に現れる神である。そして、神に創られた人間はその業（働き）を通して神と自己の存在を現すのである。

人はその働きによって知られる。

## † 心のデボーション

「元始に神天地を創造たまへり」 創世記 1:1 明治元訳聖書  
「初めに、神は天地を創造された」 新共同訳聖書

「存在の意味」

現代宇宙学は宇宙が 137 億光年の時と空間の広がりを持ち、なお膨張しているとしている。宇宙はあまりに広大で、人間は「時と空間」の意味を知らない。そして、我々は天と地の創造をもって始まる一個の人間の誕生の秘密を、そのことごとくを知らないのである。

## † 心のデボーション

「元始に神天地を創造たまへり」 創世記 1:1 明治元訳聖書  
「初めに、神は天地を創造された」 新共同訳聖書

「太初に言あり」

神は言葉によって天と地を創造された。

「太初に言あり、言は神と偕にあり、言は神なりき。

この言は太初に神とともに在り、

萬の物これに由りて成り、成りたる物に一つとして之によらで成りたるはなし」 ヨハネ 1:1~3

「創造 אָרָב בָּרָא בָרָא בָרָא bara' {baw-raw}」というヘブライ語は神にのみ用いられ、神の創造が「労することなく、言葉、または意思によって造る」(フランシスコ会訳聖書 創世記1:2 解説)を示している。

一切の出来事の「太初」に「言あり」。

## † 心のデボーション

「元始に神天地を創造たまへり」 創世記 1:1 明治元訳聖書  
「初めに、神は天地を創造された」 新共同訳聖書

「根源」

「初め אֵשֶׁת רֵאשִׁית re'shiyth {ray-sheeth}」は「起源、根源」を意味する。聖書はまず「根源」について語る。

聖書は一切の前置なしに私を「存在のはじめ(起源、根源)」に立たせる。

人間は根源のない存在ではない。どのいのちも深い価値をもたらす根源から始まっている。

自分の価値を正しく知るには創造主に意味を尋ねなければならない。

## † 心のデボーション

「元始に神天地を創造たまへり」 創世記 1:1 明治元訳聖書  
「初めに、神は天地を創造された」 新共同訳聖書

「魂の創造」

「されば神の御意に従ひて苦難を受くる者は、善を行ひて己が靈魂を眞實なる造物主にゆだね奉るべし」 I ペテロ 4:19

創造の神に自らの魂をゆだねよ。苦しみの中にあっても神は私の内に新しい「魂」を創り給う。神の創りだされた魂が私を生かす。

## † 心のデボーション

「元始に神天地を創造たまへり」 創世記 1:1 明治元訳聖書  
「初めに、神は天地を創造された」 新共同訳聖書

「創造の賛美」

詩篇は神の創造を賛美する。

神は天と地を創造された。もろもろの天は神に属し、神は地とそこに満ちるもろもろの富を創られた。(詩篇 89:11 104:24) 「天はよるこび地はたのしみ海とそのなかに盈るものとはなりどよむ」(詩篇 96:11)

天と地は「エホバをほめ蒼海とその中にうごくあらゆるものとはエホバを讃まつる」(詩篇 69:34)

「わがたすけは天地をつくりたまへるエホバよりきたる」(詩篇 121:2 明治元訳聖書)

## † 心のデボーション

「元始に神天地を創造たまへり」 創世記 1:1 明治元訳聖書  
「初めに、神は天地を創造された」 新共同訳聖書

「知恵の根源」

「すべての知恵は主から出で、永遠に主とともにある。

誰が、海の砂、雨の滴、永遠の日々を数えることができようか。

誰が、天の高さ、地の広さ、淵の深さを測り知ることができようか。

知恵は万物に先立って造られ、洞察する知性は永遠から存在する。

知恵の泉は、いと高き所におられる神の言葉、知恵の歩みは永遠の掟である。

誰に、知恵の根源は示されたであろうか」 シラ書 1:1~6

主はその賜物に応じてすべての人に知恵を与えられる。(シラ書 1:10)

自らの道をまっすぐにし、「主に希望せよ」。(シラ書 2:6)

「創造」は「知恵の根源」である。

## † 心のデボーション

「元始に神天地を創造たまへり」 創世記 1:1 明治元訳聖書  
「初めに、神は天地を創造された」 新共同訳聖書

「エホバいにしへ其御わざをなしそめたまへる前に その道の始として我をつくりたまひき

永遠より元始より地の有ざりし前より我は立られ

いまだ海洋あらず いまだ大なるみづの泉あざりしとき我すでに生れ

山いまださだめられず 陵いまだ有ざりし前に我すでに生れたり

即ち神いまだ地をも野をも地の塵の根元をも造り給はざりし時なり

かれ天をつくり海の面に穹蒼を張たまひしとき我かしこに在りき

彼うへに雲氣をかたく定め 淵の泉をつよくならしめ

海にその限界をたて 水をしてその岸を躑えざらしめ また地の基を定めたまへるとき

我はその傍にありて創造者となり 日々に欣び恒にその前に樂み

その地にて樂み又世の人を喜べり」 箴言 8:22~31

神の働きに先立って、「智慧」そこにあり、創造の「歎び」そこにある。

## † 心のデボーション

「元始に神天地を創造たまへり」 創世記 1:1 明治元訳聖書  
「初めに、神は天地を創造された」 新共同訳聖書

### 「創世記 1:1 の信仰」

創世記 1:1 は信仰の出発点である。それが「私の出発点」であることは何という喜びであろうか。創世記 1:1 の信仰はあらゆる神の創造の中に「私」を見出すことにある。

「信仰によりて我等は、もろもろの世界の神の言にて造られ、見ゆる物の顯る物より成らざるを悟る」 ヘブル 11:3 大正文語訳聖書

## † 細き聲 説教

### 「いのちの意味」

「元始に神天地を創造たまへり」 創世記 1:1 明治元訳聖書

### 序

聖書の主題は「神と人間」である。「神と人間」というテーマは聖書において同等の重みをもつ。

聖書において、神は人間ではなく、人間は神ではない。人間は神によって創造され、故に神ではなく、自己を神としないことにおいて尊き存在である。

人間にとって「神を知る」ことは「自分を知る」ことであり、「自分を知る」ことは「神を知る」ことであって、この二つを切り離してはならない。

### 1 いのちの創造

創世記第1章は天地創造を語る。神は「天と地」を創造し、人間を「神のかたち」に創造された。

「元始に神天地を創造たまへり」 創世記 1:1 明治元訳聖書

「初めに、神は天地を創造された」 新共同訳聖書

「天地創造」は、人間の存在に先立つものとして天地創造を語るものではない。これから「人間」について語るにあたり、その「はじめ」として「天地創造」が置かれるのである。

聖書の冒頭の「初めに רֵאשִׁית レーシース」は「人間の初め」として読むことができる。

我らは「私とは何か」という問いに対して、「自己の存在」を突き抜け、「天と地」の根源にいたり、これを創りたもう神にその「初め」を見、さらにすべて存在するものとの関わりのうちに自己を見出さなければならない。すべての存在は神によって創造された。したがって「存在の意味」は自分で探したり、作りだされるものではなく、天地創造の始まりからあらかじめ存在するものとして「私」に内在しているのである。人間は「私」という人格の中心に、あらゆる存在をめぐる問題と答を持つ。

### 2 「時」の創造

我らは、聖書の冒頭に「元始に神天地を創造たまへり」と語られるのを読み、聖書の最終章に「我はアルパなり、オメガなり、最先なり、最後なり、始なり、終なり」とあるのを読む。(黙示 22:13)

神は人間の創造に先立って「時」を創られ、すべてのいのちを「時」の中に置かれた。我々は「時」との関連において「今、ここ」に在る自分を知る。あらゆる自己に関する探求は「今、ここ」から始まり、「今、ここ」に至る。

「このことは誰がおこなひしや たが成しや たが太初より世々の人をよびいだししや われエホバなり 我ははじめなり終なり」 イザヤ 41:4 明治元訳聖書

「初め」を創造された神は「終わり」を創造される。神は「初め」であり、「終わりとともに」ある。人間は常に中間としての「今、ここ」に存在する。中間では時は絶えず流れ、確実なものは一つとしてない。しかし、神が

「初め」であり「終わりとともに」いますことが、この不確実な「今、ここ」の意味を支えている。

人間は中間に生きるものであり、生は絶え間なく変化し、悩みは尽きることがない。しかし、人間を出発させる神は到達させる神であり、そこに人間の限りない成熟がある。

### 3 苦しみの受容

人が神に創造されたということは、自分以外のものになる必要がないということである。それは自分のどのような側面からも逃げず、それらを大切なものとして認めることをうながす。

人は苦しみにあうと解決を求めて自分以外のものになろうとする。そのため、心は存在の意味を失い、混乱し、生きることがつらくなる。全体としての自分が失われたからである。人生から意味が失われ、全体性がそこなわれることが苦悩の原因である。

しかし、「今、ここ」の苦しみを含めた自分という存在を深く見つめれば、そこに自分との出会いがあり、さらに、神との出会いに導かれるのがわかる。そのようにして、人はいのちの全体性を回復し、「今、ここ」を確かに生きることがはじまる。

苦しきは、それから逃げようとする、ますます苦しくなる。むしろ、それを自分に引き受けることによって立ち直る。苦しみを克服する力は、苦しんでいる人に内在しているのである。

神はそのような存在として人間を創造されたからである。

(皆川誠)